

令和9年度

第3年次編入学学生募集要項

令和10年度

第3年次編入学学生募集要項

(令和9年度高等専門学校商船学科卒業見込者対象)

令和8年4月

富山大学工学部

目 次

入学者受入れの方針	1
I. 募集人員及び選抜方法	1
II. 推薦による選抜	1
III. 学力検査による選抜	3
IV. インターネットによる出願の流れ	6
V. 入学手続等	12
VI. 欠員の補充方法	13
VII. 入学時期及び修学条件	13
VIII. 障害を有する入学志願者の事前協議	13
IX. 安全保障輸出管理について	13
X. 留意事項	14
XI. 志願者の個人情報保護について	14
XII. 入試情報開示について	14
コース紹介	16
添付書類	22

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

富山大学 入学者受入れの方針

富山大学は、本学が掲げる教育理念、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、人文科学、社会科学、自然科学、生命科学、保健医療及び芸術文化の各分野に高い関心を持ち、幅広く豊かな教養と専門的な知識や技術を活かして、地域と国際社会に貢献しようとする高い志を持つ者を受け入れる。

そのため入学者選抜の基本方針として、複数の受験機会や多様な学生を評価できる入試を提供する。

工学部 入学者受入れの方針

工学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる専門的学識、問題発見・解決力、社会貢献力、そしてコミュニケーション能力を卒業時まで修得することができる資質を有する者を求める。

I. 募集人員及び選抜方法

工学科全体で17人を募集します。出願時に志望するコースを1つ選択し、合格したコースに入学します。

学 科 ・ コ ー ス		募 集 人 員	選 抜 方 法
工学科	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	17人	推 薦 ・ 学 力 検 査
	知 能 情 報 工 学 コ ー ス		推 薦 ・ 学 力 検 査
	機 械 工 学 コ ー ス		推 薦 ・ 学 力 検 査
	生 命 工 学 コ ー ス		推 薦 ・ 学 力 検 査
	応 用 化 学 コ ー ス		推 薦 ・ 学 力 検 査

【令和10年4月入学：令和9年9月高等専門学校商船学科卒業見込者対象】

工学科全体で若干名を募集し、本選抜による入学者は令和10年4月の学生定員に含めます。出願時に志望するコースを1つ選択し、合格したコースに入学します。

学 科 ・ コ ー ス		募 集 人 員	選 抜 方 法
工学科	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	若干名	推 薦 ・ 学 力 検 査
	知 能 情 報 工 学 コ ー ス		推 薦 ・ 学 力 検 査
	機 械 工 学 コ ー ス		推 薦 ・ 学 力 検 査
	生 命 工 学 コ ー ス		推 薦 ・ 学 力 検 査
	応 用 化 学 コ ー ス		推 薦 ・ 学 力 検 査

II. 推薦による選抜

出身学（校）長の推薦又は職場の所属長の推薦に基づき、学力検査を免除し、調査書及び面接の結果を総合して行います。

1. 出願資格

(1) 一般入試

高等専門学校（商船学科を除く）、短期大学又は大学のいずれかを令和9年3月卒業見込みの者又は高等専門学校商船学科を令和9年9月卒業見込の者で、人物・学力がともに優れ、出身学（校）長が責任を持って推薦できる者

(2) 社会人特別入試

高等専門学校、短期大学又は大学のいずれかを卒業した者で、令和9年3月末までに同じ勤務先で2年以上在職し、勤務先の所属長が勤務成績・人物ともに優秀と認め、責任を持って推薦できる者

2. 出願手続

出願手続はインターネット出願のみとします。出願手続は、インターネット出願サイトでの出願登録及び検定料の支払いを行った後、出願期間内に必要な書類等を書留速達郵便で郵送することにより完了します。6ページの「IV. インターネットによる出願の流れ」をよく読み、手続きを行ってください。

(1) 出願期間

令和8年5月11日(月)～5月15日(金)午後4時必着

インターネット出願の登録と検定料の納入は、5月11日(月)9時から可能です。

出願に必要な書類は出願期間内に到着するように書留速達郵便(国外から郵送する場合は、EMS等追跡可能な手段)で郵送してください。ただし、5月14日(木)以前の消印(日本国内の郵便の消印に限る。)のある書留速達郵便に限り、出願期間以降に到着した場合でも受理します。持参による出願は認めません。

(2) 出願書類等

志願者は、必要書類を「宛名シート」を貼付した封筒に入れ、書留速達郵便で送付してください。必要書類の送付は、10ページのSTEP3の検定料の支払いが完了した後に行います。

① インターネット出願サイトから印刷する書類

書 類 等		摘 要
1	編入学志願票	インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください。
2	宛名シート	インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください。 市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に剥がれないように貼付してください。

② 志願者が準備する書類

書 類 等		摘 要
1	推薦書	本学所定の様式により、出身学(校)長又は所属長が作成し、厳封したもの。
2	卒業(見込)証明書	出身学校所定のもの。 (調査書に記載してある場合は、省略してもよい。)
3	調査書	本学所定の様式により、出身学(校)長又は所属長が作成し、厳封したもの。
4	住民票の写し	居住している市区町村長発行のもので、在留資格が明示されているもの。 外国人志願者のみ提出してください。

出願書類等の提出先

富山大学理工系学務課工学部事務室(入試担当) 〒930-8555 富山市五福3190番地

3. 選抜方法及び選抜期日

出身学(校)長の推薦又は職場の所属長の推薦に基づき、学力検査を免除し、調査書及び面接(基礎学力に関する試問を含む)^注の結果を総合して行います。なお、令和9年4月入学、令和10年4月入学のいずれも同一の試験科目を課します。

(1) 実施日時

期 日	区 分	時 間
令和8年6月3日(水)	面 接 (基礎学力に関する試問を含む)	13:00～

(2) 試験場所

富山大学工学部 G16総合教育研究棟（工学系）（富山市五福 3190番地）

注 面接（基礎学力に関する試問）では、志望動機のほか、理系科目の基礎学力や工学に関する基礎的知識を問い、志望するコースへの適性を総合的に評価します。

コース名	出題範囲等
電気電子工学コース	数学：微分積分、線形代数 物理：電気回路、電磁気学
知能情報工学コース	大学学部2年次終了までに習得しておくことが期待される数学、基礎的な物理学、および情報学
機械工学コース	数学：微分積分、線形代数 物理：力学 機械工学
生命工学コース	大学学部2年次終了までに習得しておくことが期待される数学・物理学・化学、および基礎的な生物学
応用化学コース	大学学部2年次終了までに習得しておくことが期待される化学（物理化学、有機化学、分析化学、無機化学）

なお、面接は複数教員による20分程度の個人面接を実施します。

4. 合格者発表

合格者の発表は、令和8年6月12日（金）午後1時に本学部に掲示し、かつ、本人及び推薦学（校）長又は所属長に通知します。また、合格者の受験番号を本学のウェブサイト（<https://www.u-toyama.ac.jp/>）の「入試情報」にも掲載します。（本学トップページから入試情報をクリックすると閲覧することができます。）

【注；電話その他による問い合わせには一切応じません】

5. 推薦入学を認められなかった者の取扱い

推薦による選抜の選考の結果、不合格となった者で、さらに学力検査による選抜を受験しようとする者は、以下の「学力検査による選抜」により出願してください。

Ⅲ. 学力検査による選抜

1. 出願資格

次の各号に該当する者

(1) 高等専門学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者（ただし、商船学科については令和9年9月卒業見込みの者）

(2) 短期大学を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者

(3) 大学を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者

(4) 大学に2年以上在学（休学期間を除く。）し、62単位以上を修得した者及び令和9年3月末までに同要件を満たす見込みの者（本学在学中の者を除く。）

(5) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が、1,700時間以上であること。）を満たすものを修了した者及び令和9年3月修了見込みの者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）

(6) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者

(7) 高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）

注；(5)又は(6)により出願しようとする者は、5月27日（水）までに工学部事務室（入試担当）に必ず問い合わせてください。

2. 出願手続

出願手続はインターネット出願のみとします。出願手続は、インターネット出願サイトでの出願登録及び検定料の支払いを行った後、出願期間内に必要な書類等を書留速達郵便で郵送することにより完了します。6ページの「IV. インターネットによる出願の流れ」をよく読み、手続きを行ってください。

(1) 出願期間

令和8年6月15日(月)～6月19日(金)午後4時必着

インターネット出願の登録と検定料の納入は、6月15日(月)9時から可能です。

出願に必要な書類は出願期間内に到着するように書留速達郵便(国外から郵送する場合は、EMS等追跡可能な手段)で郵送してください。ただし、6月18日(木)以前の消印(日本国内の郵便の消印に限る。)のある書留速達郵便に限り、出願期間以降に到着した場合でも受理します。持参による出願は認めません。

(2) 出願書類等

志願者は、必要書類を「宛名シート」を貼付した封筒に入れ、書留速達郵便で送付してください。必要書類の送付は、10ページのSTEP3の検定料の支払いが完了した後に行います。

① インターネット出願サイトから印刷する書類

書 類 等		摘 要
1	編入学志願票	インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください。
2	宛名シート	インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください。 市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に剥がれないように貼付してください。

② 志願者が準備する書類

書 類		摘 要
1	卒業(見込)証明書 又は在学(期間)証明書	出身学校所定のもの。 (調査書に記載してある場合は、省略してもよい。)
2	調査書	本学所定の用紙により、出身学(校)長が作成し、厳封したもの。
3	出願資格証明書	本学所定の用紙による。出願資格(7)による者のみ提出してください。
4	住民票の写し	居住している市区町村長発行のもので、在留資格が明示されているもの。 外国人志願者のみ提出してください。
5	受験許可書	現在、在職中の者は、所属長の発行したものを提出してください。 (様式任意)
6	出願資格(5)に該当する者	文部科学大臣の定める基準(修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が、1,700時間以上であること。)を満たすこと及び大学入学資格を有することを証明する書類を提出すること。

7	TOEFL/TOEICの 公式認定証のコピー	<p>下記①～②のいずれかのスコアシートのコピー（A4版）を提出してください。</p> <p>①TOEIC L&RのOfficial Score Certificate（公式認定証） ※TOEIC IPテストのスコアレポート（個人成績表）は認められません。</p> <p>②TOEFL iBTの Test Taker (Examinee) Score（受験者用控えスコアレポート）</p> <p>令和6年7月1日以降のテストに対し発行されたものを提出してください。また TOEFL/TOEICの両方のスコアを提出した場合には、換算した点数の高い方を用います。</p> <p>なお、各提出書類の原本確認を「面接」時に行うので、原本を必ず当日持参してください。確認が行えない場合は、TOEFL/TOEICの利用ができなくなる場合があります。</p> <p>ただし、以下の提出方法も認めます。この場合、試験当日に原本を持参する必要はありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOEIC L&Rのデジタル公式認定証：PDF 版を印刷して提出してください。 ・ TOEFL iBTのスコア直送：ETSアカウントから、DIコード（G256）を選択し、出願書類到着期限までに本学に到着するように、スコアの直送を手配してください。併せて、TOEFL iBTのスコアを直送する旨入学志願書の余白に記入してください。
---	---------------------------	---

出願書類等の提出先

富山大学理工系学務課工学部事務室（入試担当） 〒930-8555 富山市五福3190番地

3. 選抜方法及び選抜期日

選抜は、英語（外部英語検定試験）、小論文、面接（基礎学力に関する試問を含む）^注及び調査書の結果を総合して行います。なお、令和9年4月入学、令和10年4月入学のいずれも同一の試験科目を課します。

試験科目

コース	試験科目
電気電子工学コース	英語、小論文、面接（基礎学力に関する試問を含む）
知能情報工学コース	
機械工学コース	
生命工学コース	
応用化学コース	

※英語は、出願時に提出する外部英語検定試験（TOEIC L&R又は TOEFL）により評価します。

(1) 実施日時

コース	令和8年7月1日（水）	
	10:00～11:30	13:00～
電気電子工学コース	小論文	面接 （基礎学力に関する試問を含む）
知能情報工学コース		
機械工学コース		
生命工学コース		
応用化学コース		

(2) 試験場所

富山大学工学部 G16総合教育研究棟（工学系）（富山市五福 3190番地）

注 面接（基礎学力に関する試問）では、志望動機のほか、理系科目の基礎学力や工学に関する基礎的知識を問い、志望するコースへの適性を総合的に評価します。

コース名	出題範囲等
電気電子工学コース	数学：微分積分、線形代数 物理：電気回路、電磁気学
知能情報工学コース	大学学部2年次終了までに習得しておくことが期待される数学、基礎的な物理学、および情報学
機械工学コース	数学：微分積分、線形代数 物理：力学 機械工学
生命工学コース	大学学部2年次終了までに習得しておくことが期待される数学・物理学・化学、および基礎的な生物学
応用化学コース	大学学部2年次終了までに習得しておくことが期待される化学（物理化学、有機化学、分析化学、無機化学）

なお、面接は複数教員による20分程度の個人面接を実施します。

4. 合格者発表

合格者の発表は、令和8年7月10日（金）午後1時に本学部に掲示し、かつ、本人に通知します。

また、合格者の受験番号を本学のウェブサイト（<https://www.u-toyama.ac.jp/>）の「入試情報」にも掲載します。（本学トップページから入試情報をクリックすると閲覧することができます。）

【注；電話その他による問い合わせには一切応じません。】

IV. インターネットによる出願の流れ

1. 事前準備

書 類 等	摘 要
利用環境	PC利用時推奨ブラウザ ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 最新版 ※ ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行いますと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がございます。複数タブでの同時申込操作はお控えください。 前画面へ戻る場合はブラウザの「戻る」ボタンは利用せず、画面内に表示されている「戻る」ボタンをご利用ください。 スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ・OS ・iOS 12 以上 ・Android OS 8 以上 ・iPadOS 13 以上 ※ 各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。

	<p>※ お使いのブラウザで表示が崩れることがございましたら、他のブラウザにてご確認下さい。</p> <p>※ Androidのスマートフォンからの操作でChromeのPC版からはPDFの表示ができない場合がありますので、モバイル版をご利用ください。</p>
PDF表示・印刷ソフトウェア	編入学志願票(PDF)の表示・印刷にはアドビシステムズ社が配布しているAdobe Acrobat Reader(無償)が必要です。
メールアドレス	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。</p> <p>なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。</p> <p>@e-apply.jp</p> <p>スマートフォン・携帯電話の通信会社から発行されるメールアドレスを登録される方は、各通信会社の迷惑メールフィルターの解除方法に従って、@e-apply.jpからのメールが届くように設定してください。</p>
本人写真	<p>出願にあたって顔写真データ(ファイル形式(jpeg, jpg, png, bmp), 最大10MBまで)を用意してください。</p> <p>写真の大きさは縦4:横3の比率を推奨します。</p> <p>写真は本人確認に使用します。</p> <p>出願前3ヶ月以内に撮影した正面, 上半身, 無帽, 背景なしの写真データ(カラー)を用意してください。</p> <p>【使用できない写真の例】</p> <p>不鮮明(ぼやけている, 影がある), 無背景でない(背景に風景が写っている, 背景に模様がある), 化粧や前髪が目にかかるなど本人確認が困難, 写真に加工を施している, 現像された写真を再撮影しているなど</p>
プリンター	<p>編入学志願票及び受験票(PDF)を出力するため, A4普通紙に印刷することができるカラープリンターが必要です。</p> <p>印刷用紙(普通紙・PPC用紙・OA共通用紙・コピー用紙等)とともに用意してください。自宅にプリンターがない場合は, 学校やコンビニエンスストア等, 印刷ができる環境を確認してください。</p>
角2封筒	編入学志願票等の出願書類を郵送するため, 市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を用意してください。編入学志願票を印刷した際に出力される「宛名シート」を封筒に貼り付けて使用してください。

2. インターネット出願の流れ

出願手続はインターネット出願のみとします。出願手続は、インターネット出願サイトでの出願登録及び検定料の支払いを行った後、出願期間内に必要な書類等を書留速達郵便で郵送することにより完了します。以下の「インターネットによる出願の流れ」をよく読み、手続を行ってください。

インターネット出願の流れ



事前準備 6ページを参照してください。

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。スマートフォン、タブレットをご利用の場合各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。(iOS 12以上、Android OS 8以上、iPadOS 13以上)

必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…各種証明書、写真など



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/toyama-gs/>
または、
大学ウェブサイト ▶ <https://www.u-toyama.ac.jp/>
からアクセス



出願はインターネット出願サイトでの登録完了後(STEP2)、検定料を支払い(STEP3)、必要書類を印刷・郵送(STEP4、STEP5)して完了となります。登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願書類は出願期間最終日16時必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 1

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP2に進んでください。



①初めて登録する方は「マイページ登録」からログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って「仮登録メールを送信」をクリックしてください。



③ユーザー登録画面から「ログインページへ」をクリックしてください。



④登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた「初期パスワード」にて「ログイン」をクリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して「次へ」をクリックしてください。



⑧個人情報を確認して「この内容で登録する」をクリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

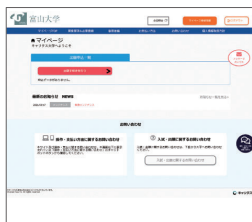
STEP

2



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望研究科等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



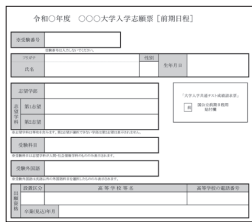
⑥出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

出願受付番号
メモ(12桁)

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控え、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機番番号
(5桁) **5:8:0:2:1** ※収納機番番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP
3

検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願登録内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

ウェブで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなただも、コンビニ、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

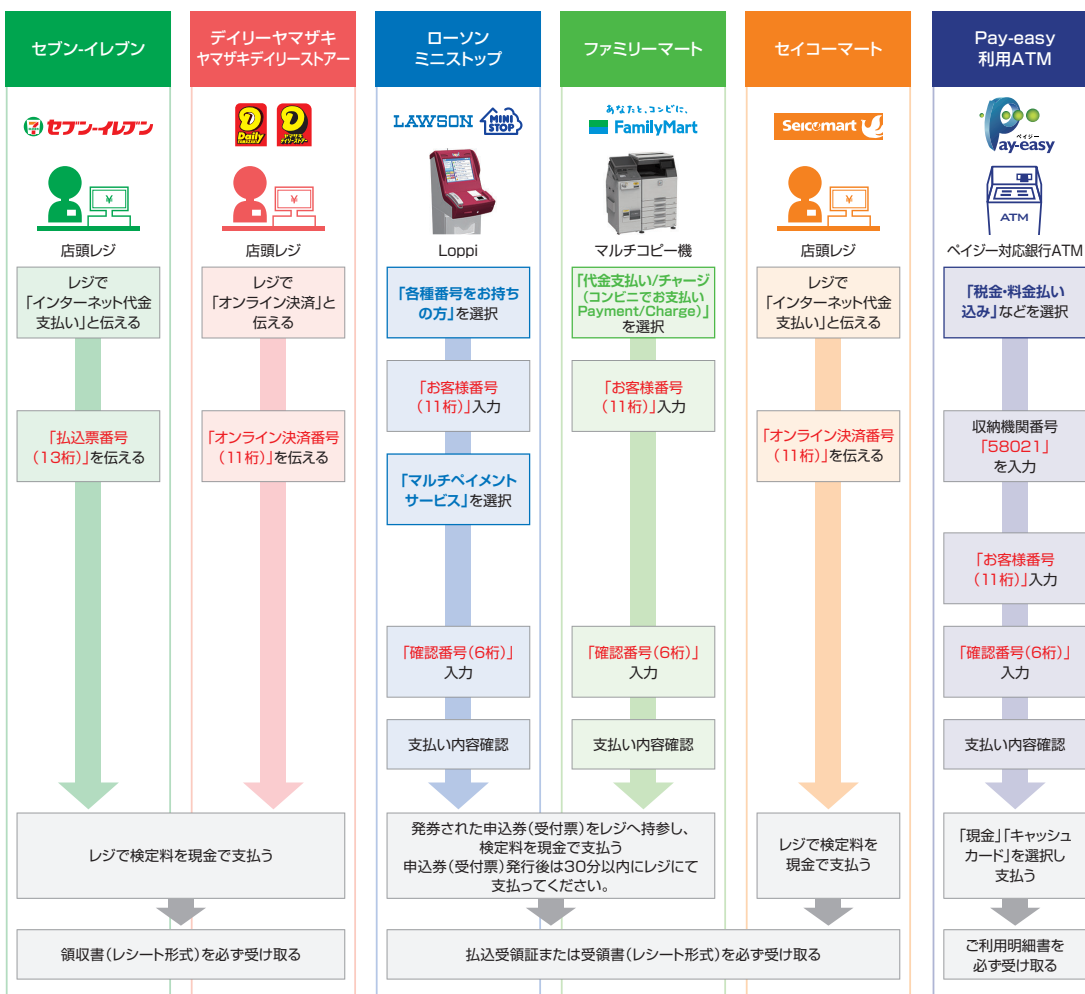
出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



STEP

4

必要書類の印刷

「出願内容の確認／志願票の印刷」ボタンからログインし、
志願票等必要書類を**A4用紙にカラー印刷**
してください。

志願票PDF(イメージ)



STEP

5

出願書類の郵送

登録だけでは出願は完了していませんのでご注意ください。

出願に必要な書類を出願期間内に郵便局窓口から「**書留速達郵便**」で郵送してください。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。

出願に必要な書類は、本学生募集要項の **2～5 ページ**を
参照して準備してください。

<出願書類到着期限>

(推薦による選抜)

令和8年5月15日(金)午後4時必着

ただし、5月14日(木)消印有効

(学力検査による選抜)

令和8年6月19日(金)午後4時必着

ただし、6月18日(木)消印有効



宛名シート



郵便局窓口

**出願書類の郵送先は宛名シートに
自動で印字されます。**

宛名シートを市販の角形2号封筒(240mm
×332mm)に貼り付けてください。

※一旦受理した検定料・出願書類は、募集要項で明記している理由によるものを除き一切返却しません。

<出願完了>

※受理についての電話等による問い合わせには一切応じません。

STEP

6

受験票の印刷

12 ページを参照してください。

受験票等発行日以降に、インターネット出願サイトから受験票が印刷
できるようになります。「受験票の印刷」ボタンからログインし、印刷して
ください。

受験票は必ず**A4用紙にカラー印刷**して、試験当日に持参してください。



「入学確約書」を提出しない者は、入学の意志がないものとして取り扱います。

(2) 入学手続き日、入学手続き時に必要な書類及び経費等については、後日（令和8年11月下旬頃）「入学確約書」を提出した合格者に改めて通知します。なお、高等専門学校商船学科を令和9年9月卒業見込みの者については、令和9年11月下旬頃に通知します。

(参考)

入学手続き時に要する経費

①入学料 282,000円〔予定額〕

なお、上記の入学料は、予定額であり、入学時に入学料が改定された場合は、改定時から新たな入学料が適用されます。

② その他 学生教育研究災害傷害保険等の経費が別途必要です。

(注) 授業料の納付について

入学後に納付することとなります。なお、納付金額・納付方法については、入学手続き時に案内します。

<参考>令和8年度授業料 年額 535,800円

VI. 欠員の補充方法

入学手続き締切日において、入学手続き完了者数が募集人員に満たない場合は、追加合格による欠員補充を行うことがあります。

VII. 入学時期及び修学条件

(1) 編入学の時期は令和9年4月（高等専門学校商船学科を令和9年9月卒業見込みの者は令和10年4月）とし、編入学年は第3年次とします。

(2) 編入学をした者は、本学部に2年以上在学し、所定の単位数を修得しなければなりません。

(3) 出身校で学んだ分野と入学希望のコースで学ぶ分野が大きく異なる等により、出身校で修得した科目単位を本学2年次までの専門科目の単位として十分認定できない場合には、卒業までに2年を超える期間を要することもありますのでご留意ください。卒業要件および各コースの専門科目については、専門科目履修の手引きで確認することができます。

専門科目履修の手引き <http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/education/registration>

VIII. 障害を有する入学志願者の事前協議

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度）があつて、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする入学志願者は、出願の前にあらかじめ本学部に申し出てください。

また、申し出に基づき協議が必要となった場合は、下記のとおり申請書を提出してください。

(1) 協議申請の期限

推薦による選抜 令和8年5月8日（金）まで

学力検査による選抜 令和8年5月29日（金）まで

(2) 協議の方法

協議申請書（健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学部において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等と面談等を行います。

(3) 連絡先

富山大学工学部事務室（入試担当） 〒930-8555 富山市五福 3190番地
電話 076-445-6701

IX. 安全保障輸出管理について

富山大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供、貨物の輸出の観点から、厳格な審査を行っています。規制されている事項に該当する場合は、入学を許可できない場合や希望する教育が受けられない、希望する研

究活動に制限がかかる場合がありますので、出願にあたっては注意してください。

【参考】「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」

URL <http://www3.u-toyama.ac.jp/soumu/kisoku/pdf/0110401.pdf>

X. 留意事項

- (1) 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- (2) 出願書類の提出後における「志望コース」の変更は認めません。
- (3) 「編入学志願票」の「連絡先」は、出願書類に関する照会、合格通知、その他緊急の際に必要なので、変更があった場合は、至急、富山大学工学部事務室（入試担当）（〒930-8555富山市五福 3190番地）に届け出てください。
- (4) 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- (5) 推薦による選抜及び学力検査による選抜試験を受けるときは、必ず「受験票」を携帯してください。
- (6) 学力検査による選抜試験において、学力検査及び面接を一部でも受けない者は、選考の対象から除きます。
- (7) 入学許可の後においても提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

XI. 志願者の個人情報保護について

本学が保有する個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 出願にあたって知り得た個人情報は、本学入学手続完了者についてのみ、入学後における①教務関係（学籍、修学指導、学生証の作成等）、②学生支援指導関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務、④統計調査及び分析を行うために利用します。
- (3) 合格者についての氏名、住所に限り、関係団体である同窓会、後援会及び生活協同組合からの連絡を行うために利用する場合があります。
(注) 上記団体からの連絡を希望しない場合は、工学部事務室（入試担当）にその旨を申し出てください。
- (4) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供しますが、守秘義務を遵守するよう指導します。

XII. 入試情報開示について

令和9年度工学部第3年次編入学試験に係る採点・評価基準、合否判定基準及び正解・解答例については、以下のとおりです。

推薦による選抜

(1) 採点・評価基準

面接では、各コースの専門科目を学ぶ上で必要な基礎的な学力及び適正と口頭による表現力を評価する。

(2) 合否判定基準

3段階評価による面接及び調査書の成績を総合して判定する。

(3) 正解・解答例等

面接：面接意図を公表する。

学力検査による選抜

(1) 採点・評価基準

小論文では、各コースの基礎知識、専門知識、思考力及び文章表現力を評価する。

面接では、各コースの専門科目を学ぶ上で必要な基礎的な学力及び適正と口頭による表現力を評価する。

(2) 合否判定基準

100点満点による英語（外部英語検定試験）及び100点満点による小論文、3段階評価による面接及び調査書の成績を総合して判定する。

(3) 正解・解答例等

小論文：出題意図を公表する。

面接：面接意図を公表する。

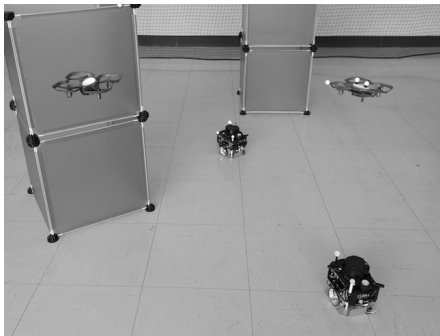
コース紹介

電気電子工学コース

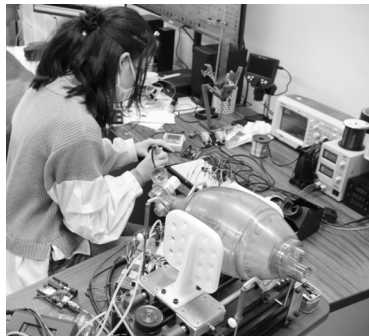
電気電子工学コースは、電気システム工学、通信制御工学、電子物性デバイス工学の3つの領域から構成されています。高電圧・大電流の効率的な生成と利用、電力の安定供給、電気機器の高効率・高性能化、次世代通信および無線技術、プログラミングを活用した高度な解析・制御技術、半導体・誘電体・有機材料の電子物性・デバイス工学に関する教育・研究を行っています。さらに、生体情報センシング技術や生体機能に基づくロボティクス、物理世界とサイバー空間を繋ぐロボットオペレーティングシステム、テラヘルツ波を利用したイメージング技術、スーパーコンピュータやAIを活用した高度なシミュレーション手法の構築、低電圧で発光する有機EL薄膜デバイスなど、最先端の研究に積極的に取り組んでいます。

近年、日本では少子高齢化や技術革新の加速に伴い、電気電子工学の専門知識を持つ研究者・技術者の不足が深刻化しています。再生可能エネルギーの導入拡大、モビリティの電動化・知能化、次世代通信技術(6G)の進展、半導体産業の競争力強化といった社会的課題に対応するためには、高度な知識と技術力を備えたスペシャリストの育成が急務となっています。本コースで培われる専門スキルや知見は産業界から強く求められており、卒業生は電気電子、機械、情報通信の関連企業をはじめ、多様な分野で活躍しています。

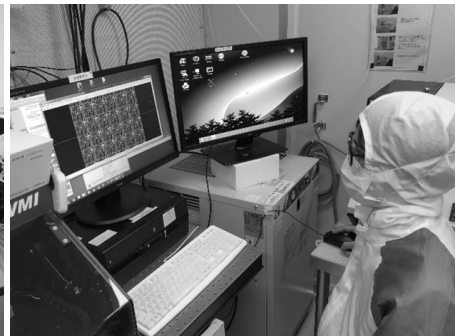
電気電子工学をコアとして広がる世界は無敵大。電気電子工学を学ぶことは将来のキャリア形成に極めて有利であり、就職活動において幅広い分野にチャレンジできることが大きな強みです。



移動ロボットの自律協調制御



簡易型人工呼吸器の開発



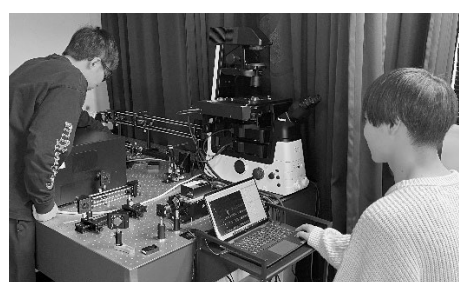
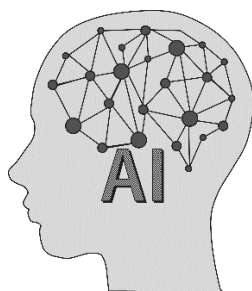
次世代半導体デバイスの開発

〈教育研究内容一覧〉

教育研究領域	【研究室名】 教育研究内容
電気システム工学領域	<p>【パルスパワー・プラズマ工学】 高電圧、プラズマ、放電、核融合、強磁場発生</p> <p>【パワーエレクトロニクス】 高効率電力変換、再生可能エネルギー利用、誘導加熱</p> <p>【電磁応用システム】 電気機器工学、磁気浮上システム、機器制御、電磁場解析</p> <p>【電磁アクチュエータ】 モータ設計、アクチュエータ制御、メカトロニクス</p> <p>【動的システム・ロボティクス】 動的システムのモデリング・解析・制御</p>
通信制御工学領域	<p>【自律システム】 サイバー物理システム、自律ロボット、Robot Operating System</p> <p>【生体ロボティクス制御工学】 リハビリテーション、生体運動、地図画像処理、複雑系</p> <p>【システム制御工学】 センサ工学、生体計測、高齢者工学、医用生体工学</p> <p>【イメージングサイエンス】 ミリ波、テラヘルツ波、画像計測</p> <p>【無線システム】 アンテナ工学、電波伝搬、通信性能計測</p> <p>【波動通信工学】 光電磁波、地球電磁気、シミュレーション、深層学習</p>
電子物性デバイス工学領域	<p>【光センシング応用】 テラヘルツ工学、超伝導デバイス、極低温冷却技術</p> <p>【極微電子工学】 半導体、分子線エピタキシャル成長、デバイス作製技術</p> <p>【強制的秩序とデバイス】 スピン、誘電性、半導体、ナノ、メモリ、センサ</p> <p>【構造物性】 スマートマテリアル、ドメインダイナミクス、カイラリティ</p> <p>【有機光デバイス工学】 光機能デバイス、光電変換、デバイス物性</p> <p>【有機薄膜エレクトロニクス】 有機半導体薄膜、薄膜電子物性、構造制御</p>

知能情報工学コース

本コースでは、ソフトウェア、ハードウェア、通信、人工知能、ヒューマンインターフェース、量子情報など情報工学の核となる情報通信技術を駆使して社会の課題を解決できる優秀な人材の育成を行っています。私たちの暮らしの中に情報通信技術は深く浸透していますが、多くの解決すべき課題や要望があると同時に、夢もあります。そして、脳・神経など感覚・認知・感性系における情報処理技術や、光・超音波などを利用した生体計測技術も、ヒューマンインターフェースや人工知能の発展とともに進化を遂げています。いわゆるAIロボット技術が私たちの生活のあらゆる場面で活躍し、より良い暮らしの実現に欠かせないものとなる日もそう遠くはないでしょう。一方で、個人情報保護の観点からもセキュリティ技術の重要性は日増しに増すばかりです。量子暗号をはじめとする量子情報の発展により、盗聴のない、安全で安心な社会が実現することでしょう。そして、極微の世界における量子力学的効果を利用した量子暗号、量子コンピュータ、微小な領域の微小な場の測定技術などは、世界を変え得る技術のタネです。現在、世界中の研究機関、企業がこのような情報技術分野でのしごを削っているのは来るべき変革への期待の現れです。大きな注目を集める分野だけに、科学的背景をしっかりと正しく理解し、一時の流行に流されずに未来を見据える「目」を養うことが重要です。



〈教育研究内容一覧〉

教育研究分野名	教育研究内容
システム工学	デジタル信号処理、音声・音楽・音響工学、センサ工学、ソフトウェア工学、医用工学、金融工学
医用情報計測学	超音波計測・イメージング、医用工学、音響信号処理、画像処理、生体計測
生体情報処理	神経系など生体の情報処理、シナプス可塑性、学習、バイオインフォマティクス、視覚情報処理、感性情報工学、夜間（昼間）都市景観工学
宇宙情報科学	天体・宇宙のデータサイエンス、数理モデル、多次元・時系列データ、スペクトル解析、レーダ信号処理、合成開口レーダ、リモートセンシング
人工知能	人工知能、深層学習、計算知能、ソフトコンピューティング、ニューラルネットワーク、機械学習、医工連携、時系列分析、アルゴリズム、最適化
量子情報	量子情報（特に量子暗号等の量子通信の理論研究）、情報セキュリティ
計算生体光学	コンピューテーショナルイメージング、ケモメトリックス、光量子科学、レーザー工学、光伝送工学、バイオフォトンクス、医用工学
人間情報学	ブレインコンピュータインタフェース、マルチモーダルヒューマンセンシング、複雑系、ヒューマンコンピュータインタラクション、認知・社会活動支援技術
量子制御理論	量子情報処理、量子システム同定、制御理論、群・代数論、情報の物理、機械学習・最適化手法、確率・統計
コンピュータビジョン	コンピュータビジョン、パターン認識、異常検知、外観検査、進化計算、表現学習
臨床光情報工学	医用光工学、低侵襲手術、がん光治療・光診断、ラマン分光、バイオイメージング、顕微鏡工学、オミックス解析、プログラム医療機器、疾患モデル、再生医療

機械工学コース

今日の社会が機械工学に求めるのは、省力化やすぐれたもの作りにとどまらず、自然や人に優しいもの作りです。価値観は時代とともに変わり、ものが溢れ、品質を求める時代も過ぎ、今は人が本当に必要なものや、人や自然を重要視したものを求める時代になってきています。これに対処するために、従来の機械工学科の基礎的な学問や技術に加え、コンピュータを備えた機械の知能化技術や、人間および環境に優しいソフト化された高度な技術が必要です。またこれらの観点から独創的で創造性豊かな技術をもつエンジニアの育成が必要になってきています。

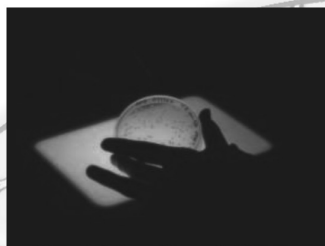
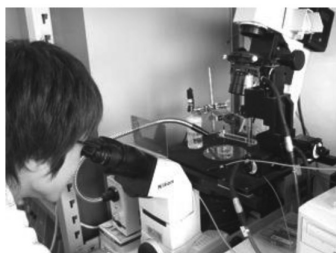


〈教育研究内容一覧〉

教育研究分野名	教育研究内容
固体力学	高強度材料、機械要素設計、トライボロジー（樹脂、ロボット関節）、プローブ顕微鏡、材料力学、弾塑性力学
強度設計工学	要素設計工学、トライボロジー、構造解析、超高サイクル疲労、極限荷重、エネルギー吸収部材、ヘルスマonitoring、生体医工学、信頼性評価
機能材料加工学	塑性加工、押出し加工、ナノ・マイクロ加工、トライボロジー、最適型設計、精密加工、切削加工、生産加工、研削加工、機械材料
熱工学	熱工学、熱力学、伝熱工学、燃焼工学、内燃機関、熱流体シミュレーション、低温下材料疲労、超電導材料の評価
流体工学	流体力学、乱流遷移、自然エネルギー、生物流体、その他流体関連現象
知能機械学	力学、機械力学、機構学、メカトロニクス、制御工学、ロボット工学、ダイナミック・シミュレーション
制御システム工学	制御工学、メカトロニクス、ロボティクス、人間-機械システム、機械学習、スワームロボットシステム、画像計測
機械情報計測	計測システム、マイクロセンサ、力覚提示、医用画像解析、画像位置計測、計測ロボット、ロボットビジョン、三次元画像計測、飛行ロボット、インフラ自動点検
応用機械情報	数値シミュレーション、計算流体力学（CFD）、格子ボルツマン法、分子動力学、空力音響学、超並列高速計算、ナノ・マイクロスケール解析

生命工学コース

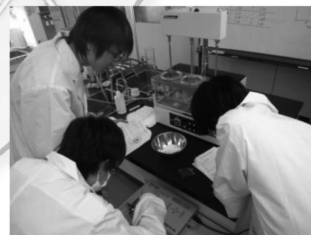
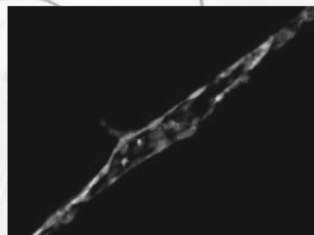
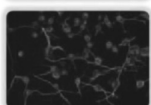
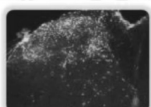
21世紀、少子高齢化を迎える社会では、人々が安心・安全・幸福に生きられる健康長寿社会の実現が重要なキーワードとなっています。生命工学コースでは、生物学、化学、物理学、数学を基礎として、生命科学の基礎的な知識を学び、遺伝子工学、細胞工学などのバイオテクノロジー、医療や健康・食品産業で活躍するバイオ計測や医用工学、医薬品をはじめとする有用物質の創出から製造・生産に至るまでの工学技術を学びます。ものづくりを通して、広く社会に貢献する研究者、技術者の育成を行っています。



**生命活動や病気の仕組みを学び、
それらを活用する工学技術を身につけて、
ものづくりで健康社会に貢献しませんか？**



in vitro(細胞)から
in vivo(動物実験)まで
幅広く、奥深く



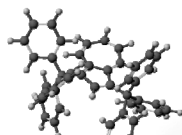
〈教育研究内容一覧〉

教育研究分野名	教育研究内容
遺 伝 子 工 学	遺伝子工学、抗体医薬、ヒトゲノム解析、疾患関連遺伝子、認知症、がん・白血病
生 体 情 報 薬 理 学	慢性疼痛・掻痒、神経精神疾患、低分子医薬品、創薬、薬理学
細 胞 電 気 工 学	細胞工学、電気工学、交流動電現象、単一細胞分析、細胞分離マイクロデバイス
生 体 材 料 プ ロ セ ス 工 学	バイオマテリアル、組織工学・再生医工学、生体医工学、薬物送達システム、人工臓器
生 物 反 応 工 学	生体触媒、生物生産、代謝工学、生理活性物質、バイオマス、バイオリファイナー
タンパク質システム工学	タンパク質分解、タンパク質工学、タンパク質フォールディング、合成生物学
生 体 機 能 性 分 子 工 学	有機合成化学、創薬化学、新規作用機序に基づく医薬品開発研究、天然物の全合成
プロセスシステム工学	プロセスモニタリング、プロセスモデリング&シミュレーション、プロセス設計&制御
オルガネラ合成生物学	細胞生物学、細胞小器官、リボソーム、合成生物学

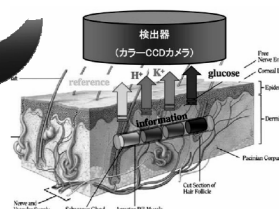
応用化学コース

本コースは、地球環境を維持しながら、人類の生活を豊かにする物質を創造し、化学の基礎知識と理解力を駆使して環境調和型社会で活躍できる、「ものづくり」のリーダーの育成を目指します。限りあるエネルギー資源の有効利用や、新たなエネルギー源の開発を行うと共に、悪化し続ける地球環境の改善を図る革新的な技術の開発をめざす未来志向型の人を育てたいと考えています。

● 物質を設計する・創る



● 工業的に利用する



● 物質を観る・調べる

● 身近に利用する・試す

〈教育研究内容一覧〉

教育研究分野名	教育研究内容
触媒・エネルギー材料工学	触媒化学、エネルギー、化学工学、燃料化学、C1化学、合成燃料
環境機能分子化学	機能高分子、環境化学、環境分析、廃棄物処理、表面改質、分光分析、分離膜
精密無機合成化学	無機化学、錯体化学、分子固体化学
生体物質化学	生物化学、タンパク質工学、分子シャペロン、タンパク質凝集
計算物理化学	計算化学、量子化学、溶液界面化学
環境分析化学	分析化学、オプティカルセンサ、電気化学センサ、生体内環境分析、分子認識化学
有機合成化学	薬品化学、天然物合成化学、有機金属化学
環境保全化学工学	環境プロセス工学、化学工学、流動層応用技術、廃棄物利用
生体材料設計工学	バイオマテリアル、再生医工学、生体材料化学、生体高分子化学、タンパク質工学、ドラッグデリバリーシステム、環境防汚材料

富山大学工学部のホームページのURLは次のとおりです。

<http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/>

コース紹介のホームページのURLは次のとおりです。

電気電子工学コース <http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/course/choice/ee/>

知能情報工学コース <http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/course/choice/ii/>

機械工学コース <http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/course/choice/me/>

生命工学コース <http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/course/choice/lb/>

応用化学コース <http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/course/choice/ac/>

添 付 書 類

添付の出願書類の種類は、次のとおりです。

◎はインターネット出願サイトから印刷してください。本学生募集要項には見本を掲載しています。○は下記の本学HPよりダウンロードして作成してください。

- ◎編入学志願票〈見本〉
- ◎宛名シート〈見本〉
- 調査書（A3）
- 推薦書（一般 A3両面）
- 推薦書（社会人）
- 出願資格証明書
- 検定料返還請求書（出願書類ではありません）

本学工学部第3年次編入学試験 HP

<http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/admission/3年次編入学試験>

令和9年度富山大学編入学志願票

フリガナ 氏名	トヤマ タロウ 富山 太郎	性別	生年月日	国籍 (外国籍の方のみ)
Name	Toyama Taro	男	2002年 1月1日	

志願者連絡先 (合格通知等 送付先)	郵便番号 〒112-0001		携帯電話	080-1111-XXXX
	東京都 文京区〇〇 1-1-1 テストマンション101号室			
	e-mail	sample@adm.u-toyama.ac.jp		
その他連絡先	氏名	富山 太郎父	志願者 との関係	父
	郵便番号 〒112-0001	電話番号	000-000-XXXX	携帯電話番号
	東京都 文京区〇〇 1-1-1 テストマンション101号室			

出願資格 (大学等)	国立 〇〇大学	〇学部〇学科〇〇コース	〇年次在学中
出願資格 (大学院等)			

志望学部	〇〇 部
------	------

志望学科等	第1志望	〇〇学科
	第2志望	
	第3志望	
	教育研究分野	

写真

学歴	20XX年3月	〇〇高等学校 卒業

入試区分	編入学
------	-----

入学時期	
------	--

職歴		
賞罰	なし	

外部英語試験	
--------	--

※人文学部のみ

現在の職業	
併願状況	

※医学部医学科のみ

(注) 本用紙は、A4サイズでカラー印刷してください

速 達

郵便局の
窓口から
郵送して
ください

9 3 0 - 8 5 5 5

富山市五福3190

富山大学

理工系学務課工学部事務室
(入試担当) 行書
留
速
達

⑨

入学願書在中

選 抜 区 分	
---------	--

志 望 学 部	
志 望 学 科 等	

志 願 者	住 所	
	氏 名	

富山大学工学部編入学推薦書(一般)

年 月 日

富山大学長 宛

所在地
学校名
学(校)長

職 印

下記の者は、貴学工学部に編入学するのにふさわしいと認め責任をもって推薦いたします。

記

推薦学生氏名

年 月 日生

出身学科名

年 月卒業見込

志望コース名

コース

第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年	第 4 学 年	第 5 学 年	名 中	位
本人の学業					名中	位
成績順位					名中	位
					名中	位
					名中	位
					名中	位

1

学 業

受験番号 ※	
2	人 物
3	課 外 活 動
4	特 記 事 項
記 載 責 任 者 所 見	
職名・氏名 印	

注 ※印欄は記入しないこと。

推薦書記入要領

本人の「学業、課外活動、生活態度、その他」については、ただ単に「まじめである」「よく活動する」というような概評的・抽象的な記入でなく、より具体的に、事実に基づき記入してください。

1. 学業

授業中における態度、勉学の自発性、計画性、持続性、創造性、理解力及び思考能力等について具体的に列挙し、記入してください。

2. 人物

人物、性格について本人の特性をよく表現するような具体的事項を記入してください。

3. 課外活動

ホーム・ルーム活動、クラブ活動等について本人の役割、役職名及び活動状況等を学年別に記入してください。

4. 特記事項

本人の生活態度、健康状況、趣味、特技、取得資格等について記入してください。

富山大学工学部編入学推薦書(社会人)

年 月 日

富山大学長 宛

所在地

事業所名

役職名

氏名

印

下記の者は、勤務成績・人物ともに優秀であり、貴学工学部の編入学者としてふさわしいと認め、責任をもって推薦いたします。

なお、入学が許可された場合には、就学に支障のないように配慮いたします。

記

志望コース名	コース	受験番号	※
フリガナ	性別	生年月日 (年齢)	
氏名		年 月 日 (才)	
現住所		就業 年月日	年 月 日
人物・性格			
推薦理由			

- 注 1. 所属長が直接記入のうえ、厳封し、志願者へ提出してください。
 2. 人物・性格については、抽象的でなく、本人の特性をよく表現できるように具体的な事項を記入してください。
 3. ※印欄は記入しないこと。

出願資格証明書

氏名 _____

生年月日 昭和 年 月 日
平成

修了（修了見込み）専攻科

専攻科修了（修了見込み）年月日

昭和・平成・令和 年 月 日修了
修了見込み

上記の者は、本校専攻科において、学校教育法第 58 条の 2 に定める高等学校の専攻科の課程を修了又は令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みであることを証明する。

年 月 日

学 校 名 _____

学 校 長 名 _____

印

所 在 地 _____

電 話 番 号 () -

※「学校教育法」第 58 条の 2…高等学校の専攻科の課程（修業年限が 2 年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者は、文部科学大臣の定めるところにより、大学に編入学することができる。

【出願書類ではありません】

年 月 日

検定料返還請求書

富山大学長 宛

請求者（志願者）

フリガナ

氏 名

富山大学へ {
・出願しなかった
・二重に払い込んだ
・多く払い込んだ } ため、下記のとおり検定料の返還を請求いたします。

請 求 金 額	金 円												
振 込 先 金 融 機 関 名													
支 店 名 ・ 出 張 所 名 等												支 店 出張所	
預 金 種 目	普通・当座・その他 ()					口座番号 (右詰め)							
口 座 名 義	フリガナ					請求者との続柄							
	氏 名												
受 付 番 号	インターネット出願サイトの受付番号を必ず記入してください。(12桁)												
住 所	〒 -												
電 話 番 号	() -												

※返還時の振込手数料は、受取人負担とします。